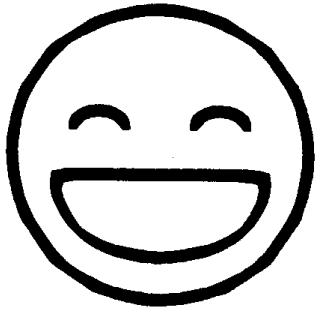
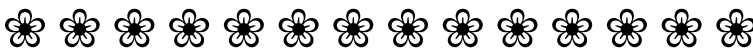


HSK NPO 法人「文福」ニュース ****



「障」ちゃん



NO.312

冒頭の一言

「梅雨」と聞くと、長く続く雨や、じめじめとした気温と湿度を思い浮かべ、あまり良い印象を持たれない方も多いかもかもしれません。しかし、梅雨の良い面について考えてみたとき、ふと幼い頃の記憶がよみがえりました。傘や合羽、長靴を身につけて外へ出かけることが、なぜか特別な冒険のように感じられたものです。雨が降っただけで、日常が少し違って見えたのだと思います。

また、梅雨は植物にとって欠かせない季節でもあります。お米や野菜がすくすく育つためには、この時期の雨が大きな役割を果たしています。私たちの食卓を支える自然の営みを思うと、雨の恵みの大切さを改めて感じます。

うっとおしいと捉えられがちな梅雨ですが、視点を変えると、季節ならではの魅力や楽しさが見えてきます。皆さんも、“梅雨の良いところ”を探しながら、少しでも心地よく過ごしてみたいはいかがでしょうか。

ゆき

—もくじ—

- 冒頭の一言 … 1
- 日下さんの思い出を語ろう会に出席して… 2
- ポッチャお知らせ … 3
- 障害者部会から … 4-5
- Penko … 6-7
- ありがとうコーナー … 8

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
HSK 毎月一〇回(一、三、五、八、一〇、一五、二〇、二五、三〇、三五、四〇、四五、五〇、五五、六〇、六五、七〇、七五、八〇、八五、九〇、九五、一〇〇)発行

日下さんの思い出を語ろう会に出席して

中村かおる

去る 4 月 25 日、夢宙人主催の「日下さんの思い出を語ろう会」が開かれました。

私は 17 時頃に到着し、20 時まで参加しました。

会場にはどこか懐かしい空気が流れており、久しぶりに顔を合わせる方々の笑顔や、「久しぶりやね」「元気やった？」といった声があちこちで交わされていました。美味しいご馳走を囲みながら、自然と会話も弾み、あたたかな時間がゆっくりと流れていきました。

会場では、日下さんをはじめ、その頃に関わっていた皆さんが出演されている 20 年ほど前のキャンプの様子を収めた DVD をみんなで鑑賞しました。映像の中の日下さんや仲間たちは今よりずっと若く、生き生きとしていて、「日下さんも若かったし、みんなも若いね。」「あの頃はずいぶん無茶なこともやっていたね。今なら少し問題になることもあったし、体力的にもとても無理だよね。」と笑い合いながら、思い出話に花が咲きました。画面の中の風景や出来事が、その場にいたそれぞれの記憶と重なり、懐かしさとともに胸がじんわりとしました。

また、当時関わっていた懐かしい方々とも再会することができ、「あの時こんなことがあったね。」「あの人はどうしているかな。」と話は尽きることがありませんでした。久しぶりに集まったとは思えないほど自然に打ち解け、まるで時間が巻き戻ったかのような心地よいひとときでもありました。

こうして振り返ると、あの頃の経験やつながりが、今の自分たちを支えているのだと改めて感じます。今回の会は、日下さんを偲ぶとともに、人と人とのご縁の大切さをあらためて実感する、まるで同窓会のような、心温まる時間となりました。





ぼっちゃ DE あそボッチャ!

2026 年 7 月 11 日 (土)

13:30~17:00

参加費 : 200 円

富山市障害者福祉プラザホール

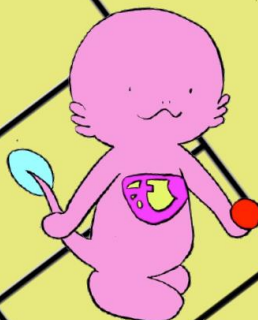
持ち物

内履き・飲み物・タオルなど

締切は 6 月 14 日です



パラリンピックの種目でもあるボッチャ。誰でも楽しめます！
夢宙人のぼっちゃは、更にルールを簡単にして、また個人ではなくペアを組むことで協力しながら楽しめるようにしています。テレビでしか見たことない人も、今回初めて知った人も、誰でも楽しめます♪
ルールも、やりながらお伝えするので大丈夫ですよ！ぜひ一緒に楽しみましょう！
※介護等の支援が必要な方は、移動支援などをご利用下さい！



主催・お問合せ先

夢宙人

誰でも楽しめるレクリエーションを運営中

muchu.jin.55@gmail.com

090-3767-7292 (シミズ)

文福 障害者部会 より

私たちと一緒に「誰もが生きやすい社会」を つくりましょう！

◎ NPO 法人文福 障害者部会

私たちは NPO 法人 文福の「障害者部会」です。

障害のある人も、ない人も、共に地域で暮らし、安心して社会に参加できることを目指しています。

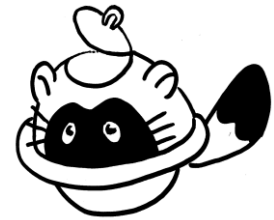
活動としては、学校、障害者の暮らしについての講話などを話させて頂いたり、障害者の声や要望を社会や行政に届け、反映を目指す活動を行っています。

◎ 障害者部会の目的

- ・ 障害者と健常者が力を合わせ、社会参加を進めること
- ・ 障害者の自立生活を支えること
- ・ 活動や事業を広げ、社会全体の暮らしや環境の向上につとめること
- ・ 障害のある人が活動の中心となり、仲間や地域の人達と共に生活や人権を守るための包括的な支援を行っています。

◎ 主な活動内容

- ・ 社会への発信、講演会、出前講座
- ・ 誰もが楽しめる交流できるイベントを実施
- ・ 知識や学び合う場を提供
- ・ 月 1 回の活動報告や情報提供、年 4 回の季刊誌の発行



◎ 私たちの思い

障害があってもなくても、お互いを理解し、助け合いながら暮らせる社会は、「誰もが生きやすい社会」です。

私たち障害者スタッフも年齢を重ね、体力や新しい発想が以前より減ってきました。それでも、地域や学校での講演活動を続け、障害者への理解を広げ

る取り組みを行っています。

◎ 仲間を募集しています

現在、障害のある方で、私たちと一緒に活動してくれる若い仲間を求めています。

多くの障害者同士との交流を深めていきたいと思っています。

年齢・経験は問いません。

あなたの経験や想いが、社会を変える大きな力になります。

※ 私たちと一緒に一步を踏み出しましょう！

※ 先ずはお気軽にご連絡ください。

連絡先 ・ 〒930-0138 富山市呉羽町 7276-3

NPO法人文福 障害者部会

TEL/FAX(076)460-0390

[メール: bunpuku@ab.auone-net.jp](mailto:bunpuku@ab.auone-net.jp)





Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part78)

5月の連休は、2泊3日で実家で過ごしました。

年間を通して、実家に泊まれるのは10日もないくらいです。

最近は毎月、日帰りで実家へ行っています。そして、正月、ゴールデンウィーク、お盆、お祭りの時には泊まっています。両親が今も元気だからこそ、こうして帰ることができるのだと思います。

私は生まれて間もなく障害を持ち、物心がつく前から、両親と毎日一緒に暮らすことができませんでした。兄弟姉妹のように当たり前で家族と暮らせなかったことは、今でもどこか心に残っています。

子どもの頃は、父親の車で送り迎えをしてもらっていたので、父親の都合に合わせて帰宅し、また施設へ戻っていました。

実家は農家です。5月に帰ると、田んぼにいるカエルたちの大合唱を聞くことができます。毎年、この声を聞くために帰っているようなものです。いつもは夜遅くから鳴き始めるのですが、今回は昼間にも変わった声のカエルが鳴いていました。

富山のアパートから少し離れた場所へ行けばカエルの声は聞こえますが、アパートまでは届きません。それが少し寂しく感じます。

田植え前の田んぼ一面には水が張られ、風に合わせてゆらゆら流れています。お日さまの光を受けると、水面がキラキラと輝き、見ているだけで癒やされます。

今回、実家へ入った途端、3匹の犬たちが「また来たな」と言わんばかりの大合唱で迎えてくれました。しゃべれないほど賑やかな歓迎でした。

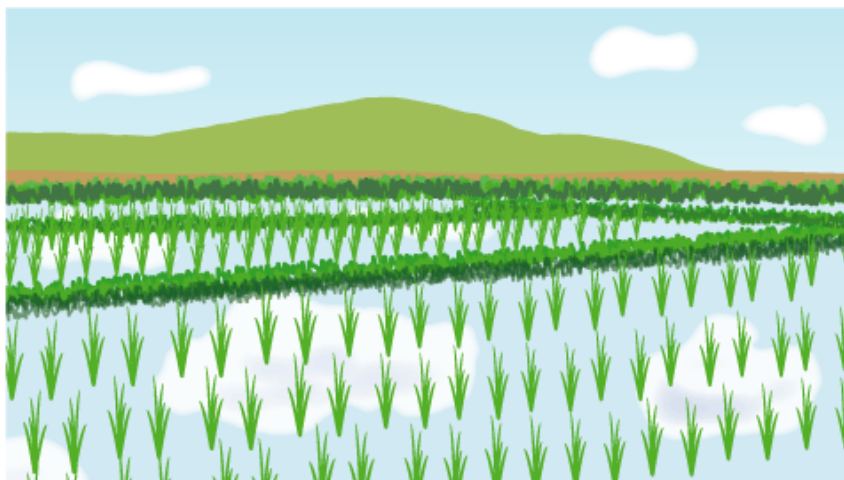
姪っ子親子も来て、一緒に遊びました。小さな成長を見られる時間も、実家へ帰る楽しみのひとつです。

毎年この時期になると、母親にお願いしてタケノコ料理を作ってもらっています。タケノコご飯に、タケノコの天ぷら。そして、ゆでたタケノコを持ち帰り、ヘルパーさんをお願いして、わかめと一緒に煮てもらいました。

実家の外の景色や空気は、まるで非現実のように感じます。

今でも、富山市の施設やアパートへ戻る前日になると憂鬱になります。頭の中で帰るまでのカウントダウンが始まり、なかなか眠れなくなってしまいます。

実家を後にするときは、両親も、そして犬たちも、いつまでも元気でいてほしいと願っています。



ありがとうコーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願ひします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



6月は梅雨の季節。

いろいろな色や種類の紫陽花の花が見られる時期。

土によって咲く色が違うのだとか。

うっとおしい季節の中、毎年楽しませてもらっています。

射水市の太閤山ランドにて、毎年「あじさい祭り」が開かれています。

今年も開催されます。

約150種20,000株の紫陽花を楽しむことができます。

(Penko)

いただきもの

嶋谷 泰典さま

発行人:北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人:特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく}文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX(076)460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。